

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市北園町プロジェクトⅡ	階数	地上7F
建設地	大阪府高槻市北園町	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	33 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年10月31日
敷地面積	1,172 m ²	作成者	生和コーポレーション
建築面積	423 m ²	確認日	2024年10月31日
延床面積	2,211 m ²	確認者	熊澤茂樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★	★☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.1 音環境 2.7 温熱環境 1.0 光・視環境 2.9 空気質環境 2.8	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7 機能性 2.5 耐用性 2.8 対応性 2.8	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2 生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・ 2.5
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2 建物外皮の 4.0 自然エネ 3.0 設備システ 5.0 効率的 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4 水資源 2.2 非再生材料の 2.4 汚染物質 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8 地球温暖化 3.4 地域環境 2.5 周辺環境 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 道路境界沿いに極力、緑地を設け、景観に配慮しました。	その他 特になし	
Q1 室内環境 界壁遮音性能 Dr-50採用 昼光率1.25以上確保 各室使用材料はF☆☆☆☆、規制対象外材料を使用とする	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建築物移動円滑化基準(最低限のレベル)を満たしています。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制[BPI][BPI m] ≤ 0.80を確保 設備システムの効率化[B E I] ≤ 0.85を確保 外壁断熱、開口部サッシ仕様の断熱性能を高め、省エネに考慮した計画としています	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率が一般的は建物と同等と計画。 駐車場・駐輪場の台数については、高槻市条例の必要台数を確保。 駐車場出入口は見通しのよい、建物配置計画をしています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)高槻市北園町プロジェクトⅡ						
建設地		大阪府高槻市北園町						
用途／区分		集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						Bー	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	断熱性能						4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					5	
④	エネルギー消費性能						5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					2	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外				評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告				対象外
-------------	--	--	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	4.0	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		